今月の安全運転管理

交差点　危険が多い　年度末

①交差点での事故を防ごう

○一時停止を確実に行おう

○交差点では安全確認を徹底しよう

②スピードの出しすぎに注意しよう

○焦らずゆっくりと運転することを意識しよう

交差点事故を防ぐ運転を実践しよう

愛知県警によると、三月は、過去五年に県内で発生した交通死亡事故のなかで、交差点・交差点付近での死亡事故の割合が七割と年間で最も高い月となっています。

そこで、次の点を指導して、交差点事故を防ぐ運転を実践させましょう。

●一時停止をしっかり行う

見通しの悪い交差点では、一時停止線の直前で停止して安全を確認したあと、左右の見通しのきくところまで進んで再度停止するなど、多段階停止を行いましょう。

●右折先の歩行者等に注意する

右折するときに直進してくる対向車ばかりに気をとられていると、右折先にある横断歩道を横断している歩行者や自転車に気づかずに衝突するおそれがあります。

右折先の横断歩道にも気を配り、十分に安全が確認できてからゆっくりと右折しましょう。

●対向車の陰に二輪車等がいることを予測する

停止している対向車の直前を右折するときは、対向車が死角となり、対向車の陰を走行してくる二輪車や自転車を見落とす危険があります。

対向車の陰には二輪車や自転車がいるかもしれないと予測し、一気に右折せず、対向車の陰を見通せる位置で停止して安全を確認してから右折しましょう。

スピードを落として走行することを指導しよう

年度末になると、業務が忙しくなることから急ぎの心理に陥り、焦りからついスピードを出しすぎたり、安全確認を怠るといった危険運転がみられる場合があります。そこで、今の時期は安全運転の指導を徹底してください。

具体的には、スピードを抑えることを重点的に指導しましょう。スピードを抑えて運転することで、周囲の状況をしっかりと視野に入れることができます。

とくにスピードを十分に落として走行する必要があるのは生活道路です。生活道路は交通量が少なく、また信号機もほとんどないことから、スピードを出してしまう傾向があります。交差点や道路に面した住宅の出入口から歩行者や自転車が飛び出してくることもあるため、スピードを出して走行していると、とっさの危険に対応できません。

生活道路を走行する場合には、いつでも止まれるスピードに落とし、周囲に十分な目配りをして運転することを指導してください。